

3. 古墳や城址の復元事例、及び地下壕の公開事例について



八幡塚古墳（群馬県高崎市）

墳丘の全長は 96m でその外側には内堀、外堀、外周溝が設けられ墓城の全長は 190m に及ぶ。荒れていた古墳を調査し、5 年の歳月をかけて 2009 年度末に復元が完了。堀は芝生広場となり、周囲には玉石が貼られ埴輪が並んでいる。(8 月 29 日撮影)



箕輪城址（群馬県高崎市）

長野業尚により 1512 年に築城 東西約 500m、南北約 1,100m の規模である。1598 年に高崎へ移され廃城と成る。2 年の歳月をかけて 2016 年に「郭馬出西虎口門」が復元された。これは戦国時代の城門としては 6 例目で、最大級の規模である。(8 月 29 日撮影)



赤山地下壕跡（千葉県館山市）

トンネルの合計延長が 1.6km に及ぶが見学できるのは 250m の部分のみ。2014 年から一般公開を開始した。入口に有る豊津ホール（公民館）で入場料を払って受付を済ませヘルメットを装着して中に入る。(7 月 14 日撮影)